

2023

10月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 230 号-①【基準日 2023 年 9 月 29 日】



🌸 社長メッセージ



新 NISA 制度について

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。厳しい残暑の9月も終わり、早いもので今年も10月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

先月のマーケットは、月前半は原油価格上昇によるインフレ懸念から株式市場は低調に推移する中、月後半には米国FOMCにて利上げは見送られましたが、パウエル議長の発言等から金融引き締め長期化見通しが強まったことにより、米国の長期金利10年債利回りが4.6%超に上昇したことなどから米国テクノロジー株を中心に大きく下落する展開となり、世界の株式市場は総じて下落した1ヶ月となりました。また、為替相場は日米金利差拡大と金融政策の方向性の違いから円が売られて1ドル149円台まで円安が一段と進みました。そのような中、ありがとうファンドは月間で-3.1%の下落となりました。

今後のマーケットは、引き続き米国の金融政策と金利、インフレ動向、景気後退リスクに株式市場や為替相場は左右される展開になりそうです。

米国では金融引き締め長期化懸念から金利が高止まりすることにより景気後退リスクが高まったり、金融システム不安の再燃が懸念されるので、企業業績や財務体質などクオリティの高さが問われる相場になると思われます。

また、地政学リスクが高まる中、引き続きマーケットのボラティリティは大きくなると予想されます。ありがとうファンドでは危機やショックなどのテールリスクに備えて『有事の金』と言われる金（ゴールド）への分散投資を継続することでダウンサイドリスクを抑制してお客様の資産をしっかり守りながら長期投資で増やしていきたいと考えております。



新NISA制度の金融機関選びは資産運用のパートナー選び

さて、弊社では10月より来年から始まる新NISA制度の口座開設の受付を開始いたしました。8月から全国で開催した新NISA徹底解説セミナーでも説明させて頂きましたが、新NISA制度は、制度が恒久化し、非課税保有期間が無期限になり、投資可能金額も大幅に拡大されるなど、現行制度と比較してより利用しやすい少額投資非課税制度に改善されました。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

岸田総理も資産所得倍増計画の柱として新NISA制度を位置付けており、業界だけでなく世間の関心・注目も集まっています。

一方で、新NISA制度の注意点としては、現行NISA制度と同様に年度毎に1金融機関のみしか口座開設ができないことです。つまり、複数の金融機関で同時に口座開設できない制約があります。(所定の手続きをとれば年度毎に金融機関を変更することはできます)

そのため、どこの金融機関で新NISA口座開設をするかがとても重要になってきます。



一般的には、自分が投資したい金融商品を扱っている金融機関を選ぶの基本で、同一商品が複数の金融機関で扱っている場合、手数料水準やサービス内容などを比較して金融機関を選択する流れになると考えられます。弊社のような直販のみの投信会社の場合は、金融商品選びと金融機関選びがイコールになります。

既に大手金融機関(銀行・証券)とネット証券・銀行などでは顧客囲い込み競争が激化しており、口座開設キャンペーンがさかんに展開されていますが、資産運用は長期で続けていくものなので、キャンペーンの有無ではなく、資産運用の伴走者を選ぶパートナー選びとして、知名度や会社規模ではなく、自分が長期で信頼して任せられると思うかどうかで大事で長期の資産運用パートナーとして相応しいかを考えて決めるとよいでしょう。

新NISA制度を利用する目的・目標を明確にしよう

来年から新NISA制度がスタートしますが、新NISA制度を利用する目的・目標を明確にしないと折角の制度を有効に活用できなかったり、利用すること自体が目的になってしまい、何のためにNISA制度を利用しているかわからなくなってしまう可能性があります。新NISA制度は非課税期間が無期限になりますが、非課税のメリットを受けられるのは、資産運用が上手くいって利益が出た場合になります。大切なことは、ライフプランに基づいて目的・目標を明確にした上で、しっかりと資産運用を継続していき運用成果を積み上げていくことです。

弊社は2004年3月9日に税理士・公認会計士がお客さまの将来不安を解消すべく立ち上げた独立系の資産運用会社です。金融機関や大企業の子会社ではない独立性と柔軟性を強みとして、販売会社都合の金融商品提供ではなく、直販による顧客本位の資産運用サービスの提供を行ってきました。

運用・直販している「ありがとうファンド」は19年の運用実績があり、設定来の19年間の運用成果は8月末時点で+197.3%の実績で約3倍に値上がりしております。

先月からありがとうファンドの運用は20年目に入っておりますが、弊社ではお客さまに寄り添って資産運用を一生涯サポートさせていただけるように、これからも皆さまから託されたお金を大切に運用して長期的に安定した運用成果の提供を目指していきたいと考えております。



今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	26,638円	+8.1%
3年	25,827円	+11.5%
5年	22,103円	+30.3%
10年	18,302円	+57.4%
初回(2004年10月)から	12,820円	+124.7%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

<ご参考>毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万9750円
3年	36万円	40万1463円
5年	60万円	78万1836円
10年	120万円	188万8472円
初回(2004年10月)から	228万円	512万2492円

2023年9月29日現在(基準価額: 28,802円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 新NISA口座開設申込受付を開始いたしました！

来年 2024 年から始まる新 NISA 制度の口座開設申込受付を開始いたしました。

『ありがとうファンド』は成長投資枠にて年間 240 万円まで非課税で投資ができ、非課税保有限度額は 1200 万円までになります。

既に口座をお持ちのお客様は、来年からありがとう投信で非課税メリットのある新NISA口座を開設してみませんか？

これまでと同様に新NISA口座においても、定期積立サービス・分割購入サービス・スポット購入のすべての購入方法をご利用することが可能です。

弊社で新NISA口座開設をご希望の方は、ホームページより資料請求いただくか、弊社フリーコール(0800-888-3900)までお電話ください。



🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第19期運用報告会	10月9日 (月)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
【追加開催】 新NISA徹底解説&活用法セミナー	10月18日 (水)	富山	18:30～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期運用報告会	10月22日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期運用報告会	10月29日 (日)	仙台	14:00～ 16:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期運用報告会	11月3日 (金)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期運用報告会	11月5日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期運用報告会	11月19日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
家族みんなが知っておくべき法律問題 第3回～日常トラブル編～	11月26日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。



🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。

夫婦で行う住宅ローン「ペアローン」 知っておきたいメリット・デメリット

都市エリアを中心に不動産価格が高騰している影響で、住宅ローンの借入金額が大きくなる傾向にあり、1人分の収入で住宅ローンを利用しようとしても借入金額が不足し、「ペアローン」を組まないと購入が難しいケースが多くなってきています。共働き世帯の増加を背景にペアローンの利用が注目されています。



ペアローンとは

ペアローンとは、1つの物件に対して夫婦それぞれが自身の収入に応じた住宅ローンを契約し、計2本のローンを組む方法です。

契約の形	夫婦それぞれで借りる。互いの契約の連帯保証人になる。
契約書	契約は2つ
金利タイプなど借入条件	契約ごとに選択できる。
返済義務	それぞれ個別に返済義務あり
所有権(住宅の持ち分)	共有名義(それぞれに持ち分あり)
住宅ローン控除	2人分利用可能
団体信用保険	それぞれ加入
諸費用	2人分かかる

ペアローンのメリットとは？

ペアローンの最大のメリットは借入可能額を大きくできるという点です。1人の収入だけでは希望する額が借入られない場合でも、ペアローンを利用することで希望額の融資を受けられる可能性が高くなります。予算が増えると購入できる物件の選択肢が増え、理想のマイホームがみつかりやすくなるでしょう。



また、夫婦でローンを2本組む関係上、2人とも団信(団体信用保険)に加入可能です。団信に加入すると、夫婦のうち一方が亡くなったとしてもその方の残債は保険で完済されるため、亡くなった方のローンは返済する必要がなくなります。

メリットとしては他に、ローン残高に応じて一定額を所得税と住民税から控除できる住宅ローン控除が夫婦2人分適用されるため、単独で住宅ローンを借入れるときよりも節税できる可能性があります。

ペアローンのデメリットとは？

ペアローンでは夫婦それぞれ団信に加入できるという点がメリットになっていますが、団信でカバーされるのは夫もしくは妻の住宅ローン残債分のみとなります。仮に夫が住宅ローン返済中に死亡したとしても、夫側の住宅ローンの返済義務しか免除されず、妻側の住宅ローンは残ります。どちらかが死亡したときには、世帯収入が減る上に住宅ローンの返済義務も完全にはなくならず、家計の収支バランスが崩れてしまう恐れがあります。

さらに、ローンを2本組むことになるため、登記費用や司法書士への報酬、印紙代などの費用が2倍になります。ペアローンを借りる際には、単独での住宅ローンよりも多くかかる諸費用以上に、金利などの借入条件や借入可能額にメリットがあるのかを確認しましょう。

また、どちらかの退職や転職、産休や育休などによって収入が減少しても、減少前の収入をベースに組んだローン返済は変わらずに続きます。特に、妻が妊娠・出産・子育てなどで仕事を辞めた場合、妻は所得が無くなるので所得税もなくなります。所得税がなくなると控除額もなくなるため、妻が借りていた住宅ローンに対する控除が受けられなくなります。妻の分のローンを夫や親族が返済すると、贈与税の課税対象になる場合があるので注意が必要です。

離婚時にトラブルのもとになる

夫婦2人によるペアローンで一番厄介なのが離婚トラブルです。

婚姻中に組んだペアローンは離婚後も残り、住宅ローンの返済を継続しなければなりません。また、離婚後もお互い連帯保証人という関係が継続するため、離婚後に相手が住宅ローンの返済を滞らせた場合、自分のローン返済に加えて相手のローン返済もしなければなりません。



売却する場合、ペアローンを組んで購入した家は夫婦の共有名義となるため、互いの同意がなければ売却できません。売却代金でローンの全額を返済できれば問題ありませんが、売却代金だけで全額弁済できない場合は、基本的には売却が難しくなります。

また、夫婦のどちらかが住み続ける場合、共有名義から単独名義にし、残債をすべて名義人のローンに1本化する必要があります。ローンを借り換えるには改めて金融機関の審査を受けなければならず、2本分の住宅ローンを無理なく返済できる経済力を有していないかぎり、基本的には住宅ローンを借り換えて名義を一本化するのはいかなり難しいでしょう。

離婚してしまった場合は、ペアローンがその後の生活の大きな足かせとなりかねないので注意しましょう。

住宅購入時は、希望の住宅を手に入れることやローン審査を通すことに意識が向きやすくなってしまいます。しかし、ローンの返済期間は長期に渡るためライフスタイルの変化などによっては、収入に対して借入金額が過大になってしまう可能性があります。借入の際はデメリットも理解したうえで、長期的な視点で考え、無理なく返済できる範囲かどうか、慎重に判断するようにしましょう。

なお、当社が提供している「FP サービス」では住宅資金についてもお相談いただけます。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

君たちはどう生きるか（岩波文庫）文庫 - 1982/11/16 吉野 源三郎（著）

今月のご紹介させていただく本は、今年、宮崎駿監督の同タイトルの映画が話題となった一冊です。

本書は軍国主義の時勢に抗してヒューマニズムを子供達に伝えるために刊行された「日本少国民文庫」全16巻の1冊で、道徳的な内容がテーマになっていますが、コペル君という主人公の物語にしているため非常に読みやすく、かえって道徳的なことが心に響きます。

主人公であるコペル君が、叔父さんや友達、学校での出来事、そしてニュートンやナポレオンなどの偉人の生き方を通して様々な学びを得て、生き方について考え、精神的に成長していく物語です。コペル君の日常に起きる様々な出来事が、正義や貧富の差、裏切りと後悔、経済構造など物事を考えるきっかけになっています。

コペル君の叔父さんは「こうしなさい。ああしなさい、こうあるべきだ」と言うのではなく、何事も常にコペル君に考えさせ、自分で答えを出させ、行動するように導いていきます。

読んでいる間、「自分だったらどうするだろう」とつい考えてしまう内容ばかりで、読み終わった後、すっきりした爽やかな気持ちと、なにかとても大切なことを得たような気持ちになります。

ヒューマニズムを子供達に伝えるために書かれた本書ですが、日々の生活に流されてしまっている大人にも是非読んでほしい一冊です。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2023年 10月分	9月5日(火)	9月26日(火)	10月6日(金)	10月17日(火)	10月19日(木)
2023年 11月分	10月5日(木)	10月24日(火)	11月6日(月)	11月14日(火)	11月16日(木)
2023年 12月分	11月2日(木)	11月24日(金)	12月6日(水)	12月14日(木)	12月18日(月)
2024年 1月分	12月5日(火)	12月22日(金)	1月9日(火)	1月17日(水)	1月19日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

10月30日(月)	銀行休業日	アイルランド	11月1日(水)	万聖節	ルクセンブルグ
-----------	-------	--------	----------	-----	---------

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

＜免責事項 | Disclaimer＞

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中での「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

『ありがとうファンド』 第19期運用報告会

10月より第19期運用報告会を全国で開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで8月末に第19期決算を迎えましたので、第19期運用報告会を10月より全国6都市で開催いたします！第19期の運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2023年10月9日（月）10:00～12:00

ありがとう投信本社3F

福岡

2023年10月22日（日）13:30～15:30

アクロス福岡 604

仙台

2023年10月29日（日）14:00～16:00

仙都会館 7F-C

札幌

2023年11月3日（金）13:30～15:30

かでる2. 7(北海道立道民活動振興センター)810B 会議室

大阪

2023年11月5日（日）13:30～15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室2

名古屋

2023年11月19日（日）13:30～15:30

ウイंकあいち（愛知県産業労働センター） 会議室 1210



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール: 0800-888-3900



ありがとう投信

Arigato Asset Management inc.



新NISA

2023年10月

申込受付開始！

ありがとうファンドは「成長投資枠」対象商品になります！

来年 2024 年から始まる新 NISA 制度の口座開設申込受付を10月から開始いたしました。『ありがとうファンド』は成長投資枠にて年間240万円まで非課税で投資ができ、非課税保有限度額は 1200 万円までになります。

既に口座をお持ちのお客様は、来年からありがとう投信で非課税メリットのある新NISA口座を開設してみませんか？

これまでと同様に新NISA口座においても、定期積立サービス・分割購入サービス・スポット購入のすべての購入方法をご利用することが可能です。

弊社で新NISA口座開設をご希望の方は、下記 QR コード又はホームページから資料請求いただくか、弊社フリーコールまでお電話ください。



新 NISA 口座開設
資料請求はこちらから

皆さまからの口座開設をお待ちしております！

URL: <https://www.39asset.co.jp/guide/change/>

フリーコール: 0800-888-3900